小6 中学受験 算数 はってん こたえ　名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿

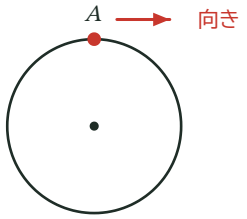
点の移動とグラフ

＿＿＿月＿＿＿日

1 円周や辺の上を動く点 発展

次の問いに答えなさい。

□ (1) 図の円の周の上を、点PとQが、同じ点Aから、同時に同じ向き（矢印の向き）に動き出します。Pは24秒で、Qは40秒で、円を1周します。出発してから、はじめてPとQが重なる（同じ場所にくる）のは、何秒後ですか。

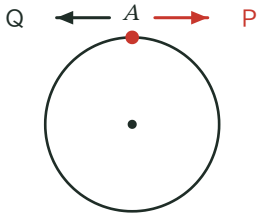


360 ÷ 24 = 15　360 ÷ 40 = 9　15 − 9 = 6　360 ÷ 6 = 60
答え 60秒後

2 2点の動き（辺の上・円周上） 発展

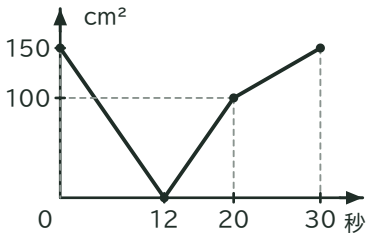
次の問いに答えなさい。

□ (1) 図の円の周の上を、点PとQが、同じ点Aから、同時に反対の向き（矢印の向き）に動き出します。Pは8秒で、Qは24秒で、円を1周します。PとQが、円の中心をはさんで反対がわ（直径の両はし）にくるのは、出発してから2回目に、何秒後ですか。



360 ÷ 8 = 45　360 ÷ 24 = 15　45 + 15 = 60
180 + 360 = 540　540 ÷ 60 = 9　答え 9秒後（1回目は2人で合わせて180°、2回目はさらに1周の360°進んだとき）

□ (2) 長方形ABCDの辺BC上を、点PはBからCへ、点QはCからBへ、それぞれ一定の速さで、同時に出発して動きます（着いたら止まります）。点Pのほうが速く、BC=60cmです。グラフは、三角形APQの面積と、出発してからの時間の関係です。点P、Qの速さは、それぞれ毎秒何cmですか。



60 ÷ 20 = 3　60 ÷ 30 = 2　答え P 毎秒3cm、Q 毎秒2cm（グラフの折れ目の20秒でPがCに、30秒でQがBに着く）

できた ＿＿＿ / 3問

学校・家庭・塾・教室での印刷と配布は自由です。ウェブへの掲載・販売はできません。

chiritsumo-drill.com
ほかの プリントは こちら